



《1960年代の清掃革命》積水のプラスチック製ごみ容器「ポリペール」が、日本の街を美しくした。

積水の歩み、それはSDGsそのもの

持続可能な社会の実現に向けた国際目標であるSDGs。このゴールに向かって、多くの国や企業が様々な取り組みを実施しています。実は、積水化学グループも、持続可能な未来に向けた取り組みを、1947年の創業当初から続けてきました。例えば「ポリペール」。衛生的かつ効率的なごみ収集スタイルが広がり、街のごみ問題解決に貢献。今では、微生物のチカラを利用した「ごみをエタノールに変換する革新的生産技術」を確立。究極の資源循環社会システムの創生・社会実装を目指して、岩手県久慈市で実証プラントを稼働中。これからも、持続可能な社会のために際立つ技術を通して、世界をゴールに近づけていきます。



岩手県
久慈市

エタノールプラント

ガス化炉

